**STの方向け☆発達協会主催2020年「春のセミナー」開催のご案内**

**お申し込みお待ちしております！**

**発達協会HP：**[**http://www.hattatsu.or.jp/**](http://www.hattatsu.or.jp/)

**2月1日(土)**

**A　WISC-Ⅳを用いた評価法と指導・支援への活かし方－報告書を書くときのポイントも含めて**

子どもへの指導・支援において、適切な評価は欠かせません。心理検査は客観的な指標として活用されていますが、取ることはもちろん、その解釈や活かし方には十分な知識や経験が必要です。このセミナーでは、代表的な心理検査のひとつであるWISC-Ⅳを取り上げ、その結果の読み取り方、活かし方をお伝えします。また併せて、保護者等への結果説明、報告書を書くときのポイントもお伝えします。検査方法は取り上げません。検査を取らない方のご受講もお受けいたします。

１　WISC-Ⅳの結果の読み取り方

安住ゆう子先生（NPOフトゥ－ロLD発達相談センターかながわ）

２　検査結果や観察評価から導く、学習課題と生活面への支援

安住ゆう子先生（NPOフトゥ－ロLD発達相談センターかながわ）

３　結果説明と報告書を書く時のポイント

安住ゆう子先生（NPOフトゥ－ロLD発達相談センターかながわ）

**2月2日(日)**

**D　吃音や場面緘黙のある子どもの育ちを支える－「話したいのに上手く話せない」子への対応**

話したいのに、上手く話せない子がいます。大人は、「話さない」のではなく、「話せない」と理解する必要があります。このセミナーでは、上手く話せない背景として発音の未熟さ（機能性構音障害）、吃音、場面緘黙を取り上げます。一部の講義では、発達障害との関連についても触れる予定です。子どもが安心して学び、遊び、暮らすために、心理、言語の視点から子どもへの理解を深めます。

１　発音が未熟な子への支援－機能性構音障害への保育・教育の場での対応

三木江理奈先生（個別学習エイル）

２　吃音のある子の育ちと支援者に求められる対応

小林宏明先生（金沢大学）

３　場面緘黙のある子への理解と支援－自閉症スペクトラムとの関連も含めて

高木潤野先生（長野大学）

**☆その他にも様々なテーマで講座を行っております。詳しくはHPをご覧ください。**

★**お申込み方法**

《申し込み》**お電話・ＦＡＸ・発達協会ホームページ**から、お申し込みいただけます。

　　　　　　・電話：03-3903-3800

　　　　　　・Fax ：03-3903-3836

 ・HP　：http://www.hattatsu.or.jp/

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナーを申し込むことはできません。

・申し込みの殺到が予想されるセミナーもございます。お早めにお申し込み下さい。

《時間》各日10:15～16:20

《定員》各250名（定員になり次第、随時締め切ります）

《会場》東京ファッションタウン（ＴＦＴ）ビル東館　9階研修室

　　　　東京都江東区有明3-6-11

《受講料》各10,000円（税込）（会員9,000円（税込））